

令和8年  
2026年

3月27日  
金曜日

第11918号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料 (前納)  
年間 82,080円  
(税込み)  
6か月 42,120円  
(税込み)

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



CGC合同商談会が開催された……P5

- ▶ [牛・豚・鶏肉需給予測] 4月牛肉生産は前年比2・8%増 …… P2
- ▶ 「食肉小売店販売戦略実態調査」牛肉の取扱量は経産牛（和牛）以外は減少—日本食肉消費総合センター② …… P3
- ▶ スターゼンカップ開会式で池尻本部長が選手を激励、新たに中学生女子の部創設 …… P4
- ▶ 熊本県球磨郡の野生猪で豚熱確認、県内初—農水省 …… P4
- ▶ CGC合同商談会、カナダ産豚肉など提案、ウイナーカテゴリ強化 …… P5
- ▶ [輸入牛現物相場] チルドの荷動きは活発化、相場も上昇続く …… P6
- ▶ [ブロイラー市中現物相場] 国産生鮮モモ強もちあい …… P6

- ▶ 米国は台湾との相互貿易協定の合意を発表、業界団体は賞賛 …… P7
- ▶ 宮城県角田市の家禽農場で今シーズン23例目の鳥フル確認—農水省 …… P7
- ▶ [資料] 都道府県等における地鶏、銘柄鶏の生産利用状況 令和6年度実績② …… P8~9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 26日 …… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 26日 …… P11

## 注目のヘッドライン

### 【牛・豚・鶏肉需給予測】4月牛肉生産は前年比2・8%増

農畜産業振興機構は26日、3月・4月の牛・豚・鶏肉需給予測を発表した。それによると、牛肉の生産量は3月が2万8600t(前年同月比0・9%増)と予測している。

…詳細はP2

### スターゼンカップ開会式で池尻本部長が選手を激励

…詳細はP4

りんご和牛  
信州牛  
登録商標 第1394040号

信州プレミアム牛肉  
登録商標 第5282895号 第5282894号

信州牛生産販売協議会

国産牛豚内臓肉、チルドビーフ、チルドポーク卸売

健康と食生活を演出する  
**ビセラル株式会社**

〒123-0865 東京都足立区新田 2-8-12

営業一課 / ☎ (03) 3919-2929 FAX (03) 3919-2930

総務 / ☎ (03) 3919-2980 FAX (03) 3919-2941

<http://www.visceral.co.jp>

## 【牛・豚・鶏肉需給予測】4月牛肉生産は前年比2・8%増

農畜産業振興機構は26日、3月・4月の牛・豚・鶏肉需給予測を発表した。それによると、牛肉の生産量は3月が2万8600t(前年同月比0・9%増)、4月が3万1400t(2・8%増)と予測。品種別出荷頭数をみると、3月は和牛が4万2600頭、交雑種が2万1400頭、乳用種が2万4200頭、4月は和牛が4万8700頭、交雑種が2万2800頭、乳用種が2万4200頭とそれぞれ予測している。

また、輸入量は3月が2万8600t(7・6%減)、4月が4万7800t(10・0%減)とそれぞれ減少を予測。内訳をみると、3月は冷蔵品が1万1800t(11・5%減)、冷凍品が1万6800t(4・5%減)。4月は冷蔵品が1万3600t(8・3%減)、冷凍品が3万4200t(10・5%減)を見込んでいる。冷蔵品は、輸入価格が引き続き高水準にあることから国内需要は低調であり、主要輸入先である米国産および豪州産の輸入量の減少が見込まれること等から、3月はかなり大きく、4月はかなりの程度、前年同月を下回ると予測する。冷凍品も、同様に輸入価格が引き続き高水準にあることから国内需要は低調であり、3月は豪州産を除くほとんどの主要輸入先の輸入量減少が見込まれること等から、前年同月をやや下回ると予測。4月も同じくほとんどの主要輸入先の輸入量の減少が見込まれること等から、前年同月をかなりの程度下回ると予測する。

豚肉は、生産量は3月が7万7800t(2・3%増)、4月も7万7800t(0・5%増)の予測。輸入量は、3月が7万2500t(9・9%増)、4月が7万4900t(20・2%減)としている。冷蔵品は、3月は価格や規格などで一定の評価を受けるカナダ産やメキシコ産の増加が見込まれること等から、前年同月をやや上回る一方、4月は、前年のカナダ産が通関のずれ込みなどを受け高水準となったこと等から、前年同月をわずかに下回ると予測する。冷凍品は、現地相場高や為替相

場の影響、国内の輸入品在庫が高水準にあることにより、前年同月を下回って推移してきており、加えてASF発生によるスペイン産の輸入一時停止措置の影響等もある中、例年3月に行われる通関保留が限定的になると見込まれること等から、3月は前年同月を大幅に上回る一方、4月は大幅に下回ると予測する。

また、鶏肉の生産量は、3月は14万4千t(1・4%減)、4月は14万4300t(2・6%減)の予測。輸入量は、3月が4万7千t(11・2%増)、4月が5万2400t(9・7%増)としている。前年のブラジル産の輸入量がブラジル国内および他国向けの需要の高まりによる価格上昇により低水準であることや現在の輸入品在庫量が低水準であったこと等から、3月はかなり大きく、4月もかなりの程度、前年同月を上回ると予測する。

牛・豚・鶏の需給予測

(単位:頭、トン)

		3月		4月	
		出荷頭数	前年比	出荷頭数	前年比
牛 計		88,700	99.5	96,300	100.9
和牛		42,600	96.9	48,700	101.5
交雑牛		21,400	102.6	22,800	100.3
乳牛		24,200	101.5	24,200	100.5
豚		1,392,000	102.9	1,390,000	101.0
部分肉の需給予測		量	前年比	量	前年比
牛肉	生産量	28,600	100.9	31,400	102.8
	輸入量	28,600	92.4	47,800	90.0
	出回り量	64,300	108.7	80,500	106.7
	月末在庫量	132,700	100.3	131,400	94.2
豚肉	生産量	77,800	102.3	77,800	100.5
	輸入量	72,500	109.9	74,900	79.8
	出回り量	148,400	104.3	166,300	100.2
	月末在庫量	211,600	97.7	198,000	89.3
鶏肉	生産量	144,000	98.6	144,300	97.4
	輸入量	47,000	111.2	52,400	109.7
	出回り量	195,900	99.8	201,100	100.4
	月末在庫量	146,300	93.2	141,800	93.0
輸入量の内訳(部分肉ベース)					
牛肉	冷蔵	11,800	88.5	13,600	91.7
	冷凍	16,800	95.5	34,200	89.5
	合計	28,600	92.4	47,800	90.0
豚肉	冷蔵	34,800	104.0	35,400	98.8
	冷凍	37,700	116.0	39,500	74.9
	合計	72,500	109.9	74,900	79.8

## 「食肉小売店販売戦略実態調査」牛肉の取扱量は経産牛(和牛)以外は減少 —日本食肉消費総合センター②

日本食肉消費総合センターはこのほど、令和7年度「供給リスク増大下の食肉事情等理解醸成事業」を活用し、「消費者意識調査」と「食肉小売店販売戦略実態調査」を実施(24日既報)。このうち、食肉小売店販売戦略実態調査は、全国の精肉店、スーパーを対象としており、有効回答数は342件。

それによると、食肉小売店はコスト上昇下での転嫁状況について、牛肉より豚肉、鶏肉の仕入価格上昇を強く実感。また、いずれの食肉も仕入高の大きい食肉小売店ほど仕入価格上昇を強く感じている。仕入価格上昇分の小売店への転嫁はとくに牛肉が進んでいない。また、スーパーに比べて精肉店がより転嫁が困難な状況であり、売上高が小さい精肉店、高齢者を主な客層とする精肉店ほど転嫁できていない。転嫁できない最大の理由は「売上高が減少する恐れ」となった。

転嫁方法は単なる値上げが主流だが、スーパーでは内容量の調整や盛り合わせなどの手法も多用。また、精肉店は、値上げについて口頭での説明を重視している。転嫁後の売上高への影響は「減少」が「増加」を上回っており、とくに精肉店はスーパー以上に「大きく減少」の割合が大きい。

来店者の購入状況を見ると、客数は減少傾向にあり、精肉店はスーパーを上回る大幅な減少に直面。とくに70代以上の精肉店離れが顕著であるが、一方、精肉店では40代以下の来店者数がほかの年代に比して増加した。

食肉全般で買い控えが進み、とくに牛肉の買い控えが顕著である。また、スーパーでは、節約志向からか、小間切れ、切り落としや安価な部位の購入増。牛肉から豚肉、鶏肉へのシフト、牛肉では小容量パック、豚肉、鶏肉では大容量パックの需要拡大がみられ、豚肉、鶏肉を中心に特売日に来店が集中する傾向にある。精肉店ではこうした購買行動の変化はスーパーほど目立たない。

そのため、精肉店では購買行動の変化は少ない一方、スーパーでは価格を重視した食肉選択が進行している。また、国産肉と輸入肉の購入には大きな変化がない中、牛肉では国産肉へのシフト、豚肉、鶏肉で

は輸入肉の購入増加の傾向がとくにスーパーでみられた。銘柄・ブランド食肉の消費は縮小しており、特に精肉店で銘柄・ブランド牛肉の減少が大きい。

牛肉の表示状況では、交雑種について、食肉小売店の65%が取り扱っており、その79%が交雑種である旨を表示。乳用種については、取り扱っている食肉小売店は37%にとどまり、乳用種である旨の表示率も35%に過ぎない。格付表示は、精肉店では積極的。とくに和牛肉については取り扱っている精肉店の53%が、等級を問わず、全て格付を表示。一方、スーパーでは和牛であっても「全て表示」は14%で、和牛、交雑種、乳用種を問わず格付を表示しない傾向にあった。

牛肉の種類別取扱量については、経産牛(和牛)以外は取扱量が減少。とくに和牛牛肉の取扱いは食肉小売店の43%(精肉店43%、スーパー42%)で減少。業態別では、精肉店では和牛、スーパーで乳用種や輸入牛肉の取扱量が減少傾向となった。なお、経産牛(和牛)は取扱量は増加しているものの、食肉小売店の53%(精肉店54%、スーパー52%)が取り扱っていない。

牛肉の販売方法としては、「小間切れ、切り落としの拡充」が76%と最も実施率が高く、次いで「味付け肉の充実」(66%)、「特売の拡充」(61%)と続く。また、スーパーのみに尋ねた「大容量パック」と「小容量パック」はいずれも約8割近い実施率になっているが、新規実施率は大容量パックの方が高く、大容量パック強化の動きが顕著である。なお、スーパーは味付け肉やSNS活用など、時代のニーズに対応した手法の導入に精肉店以上に積極的である。

スーパーの棚造りは、「用途別陳列」と「調味料との並売」が主流であるものの、最近では品ぞろえを増やすよりも売れ筋を絞り込む重点化が進んでおり、特に、和牛肉以外の牛肉が主力のスーパーでその傾向がみられた。成果のあった販売戦略としては、スーパーでは「品質、産地、ブランド化」や「商品開発、品ぞろえ」を重視する一方、精肉店では「販売、接客、広報」「量目、加工、サービス」で成果を上げている。(連載終わり)

## スターゼンカップ開会式で池尻本部長が選手を激励 新たに中学生女子の部創設

スターゼンが特別協賛する「スターゼンカップ 第56回日本少年野球春季全国大会」(主催=公益財団法人日本少年野球連盟、報知新聞社、愛称=ボーイズリーグ)が26日開幕し、東京都大田区の大田スタジアムで開会式が行われた。同大会は1971年から長きにわたり行われてきた、春の全国ナンバー1決定する大会。26~31日(予定)にかけて、全国の予選を勝ち抜いてきた小学生の部12チーム、中学生の部48チームに加え、今回から新たに創設された中学生女子の部6チームが連日熱戦を繰り広げる。

スターゼンでは、次代を担う少年の健全育成や未来のプロ野球選手を発掘し、育てる場として重要な大会であると認識しており、食の未来を担う子どもたちを支援したいという考えの下、ボーイズリーグの「野球を愛好する少年たちに正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて次代を担う少年の健全育成を図る」という目的に賛同。2023年から冠スポンサーとしてサポートしている。育ち盛りの選手たちに喜んでもらえるよう、優勝チームには九州産黒毛和牛のロース丸ごと1本を贈呈している他、ハンバーグ山盛り300個、全国のマクドナルドで使用できるマックカード3万円分など、豪華な食肉製品の副賞も提供している。

開会式はあいにくの雨模様となり、残念ながらグラウンドでの入場行進や始球式は中止となったが、選手宣誓では各部の選手代表が力強く大会中の健闘を誓い、前年優勝チームから優勝カップの返還が行われた(上写真)。晴天であれば、昨年に続いて始球式で投手の大役を担う予定だった池尻尊広上席執行役員兼営業本部長(下写真)は「当社が冠スポンサーになってから、本日を含めて開会式は4回中3回



が雨天となった。来年こそは晴れの舞台で選手たちが入場行進される勇姿を必ず見守りたい。また1年それを楽しみにしている」とあいさつ。「スターゼンは食肉を中心とした食品会社であり、食を担う若い皆さんのために何かお手伝いできないかということで、53回大会から特別協賛させていただいている」と説明した。また、池尻本部長自身も高校野球の名門である横浜高校野球部出身だが、53回大会の中学生の部で優勝した東海中央ボーイズの中心選手であった小野舜友選手は横浜高校野球部で主将を努めており、現在開催中の春の選抜高校野球大会にも出場していることなどを紹介。「今年はWBCが開催されたが、皆さんには将来ぜひ日本を代表するような選手になっていただきたい。そのためにわれわれができることは、食を通じてそれをお手伝いすること。スターゼン自慢の精肉やハンバーグをたくさん提供するので、選手の皆さんはそれも楽しみの一つにして、全力プレーで応えていただければうれしい」と激励した。



## 熊本県球磨郡の野生猪が豚熱確認、県内初―農水省

熊本県球磨郡において、野生猪が豚熱に感染した事例が県内で初めて確認された。熊本県は24日、同県球磨郡において発見・回収した野生猪の死体についてPCR検査を実施し、同検査により陽性が確認さ

れた。そのことを受けて実施した農研機構動物衛生研究部門での精密検査の結果を踏まえ、豚熱野外株陽性であると判定したものを。

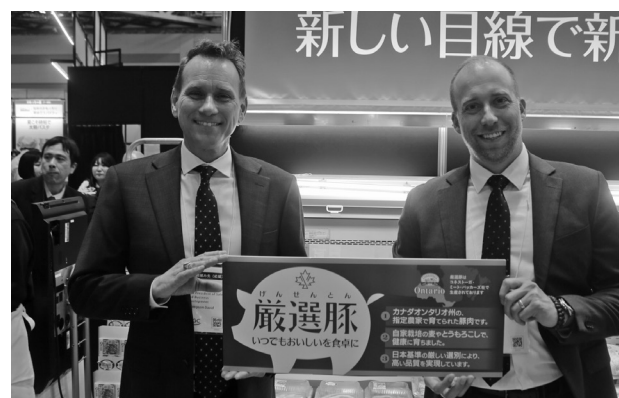
## CGC 合同商談会、カナダ産豚肉など提案、ウインナーカテゴリー強化

シジシージャパン(株)は24～25日の2日間、「2026 CGC合同商談会」を東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催した。合同商談会はCGCグループ年間最大のイベントであり、商品を中心としたCGCの協業活動の理解を深めてもらうことが目的。会場には加盟企業のトップ、バイヤー、現場のパートナー、さらに取引先ら、両日合計で8341人が来場した。

会場では今年度の活動スローガンである「勝ち残り、生き残り、変革への強い思いで。」に沿って諸施策を一挙に紹介。「最重要取り組み6項目」として、①カテゴリー強化②調達力強化③ロジスティクス強化④生産性向上(商品軸・店舗軸)⑤ブランド認知向上⑥備災活動の強化を展示の軸とした。取り組みの一丁目一番地は「カテゴリー強化」。国内市場における伸長率と比べてCGCメンバー店の販売実績が低く、伸びしろのある大きいカテゴリーを「パワーアップ50」として選定。PBの新規開発などによる品ぞろえ強化やNBの集中化で、カテゴリーの売り上げ・利益を最大化する取り組みだ。「食肉」部門では、ウインナー、ロースハム、冷凍販売調理品の3カテゴリーをあげている。商品ゾーンでは、部門ごとに対象カテゴリーに投入する新商品の紹介や売り場提案を行った。「食肉」では、価格以上の価値と収益性を確保できる商材を提案した。

輸入ポークでは引き続きカナダ産を中心に訴求。そのうち「きずなポーク」は“ジャパンフォーカス”を掲げるハイライフ社のブランドポークであり、日本市場に特化した独自規格や専属シェフによるメニュー訴求などを含めて提案している。来日したカラン・サンファイCEO(上写真左、右は舩越直之シニアバイスプレジデント)は「当社は日本市場にフォーカスしており、バリューチェーン全体を通じて、消費者までしっかりとつながっていききたい。消費者は品質を重視しているが、ハイライフのミッションは、世界におけるプレミアムポークになること。温暖化や不安定な国際情勢によって価格が上昇しており、日本の皆さまが食料確保に対する強い危機感をもっていることは理解している。ハイライフとして今後も安定した高い品質の商品を提供していきたい」と強調した。

昨年、コネストーガ社(下写真、来日したデイビッ



ト・トンプソン営業・事業開発部門担当副社長=左、ティージェイ・パークス取引開発担当部長=右)が対日チルドポーク輸出10周年を迎えたことを機にブランドロゴを刷新した「厳選豚」。人気料理研究家のちほるさんとコラボしたメニュー提案は、SNSなどを中心に好評を博している。スペイン産豚肉の輸入停止の影響により、カナダ産についてもチルドのみならずフローズンの引き合いも強まっている中、「サーロイン」や「ベリーフランク」などの部位を新たに提案した。

輸入ビーフでは、引き続き米国産アンガス牛の「ブラックキャニオン」やカナダ産アンガスビーフのほか、豪州産、ニュージーランド産、ウルグアイ産など幅広く提案する。鶏肉では、九州産「高原ハーブどり」や「桜島どり」などを紹介したほか、価格高騰に対して、タイ産「ひまわりハーブ鶏」など、輸入鶏肉の提案を強化。さらに羊肉では「グレートサザンラム」などのブランドに加え、味付済みの「北海道ジンギスカン」やマトンのスライスや串を提案する。

「パワーアップ50」の対象である「ウインナー」では、「Vパックシリーズ」の皮なしウインナーやあらびきポークウインナーのほか、NBの無えんせきウインナーなどを強化する。

## 【輸入牛現物相場】 チルドの荷動きは活発化、相場も上昇続く

チルドは豪州産で通関切れの商品が入荷し、在庫が枯渇した状況というのは解消されつつある。しかし、通関が一気に切れても物流が追いつかず、滞留した状況や逼迫感ひっばくは続いているようだ。引き合いはモモ、カタなど赤身の強い部位をはじめ、ロインなど高級部位もよく動いている。バラ系は活発な様子はないが、全体的な品薄感が強く、ゴールデンウィークに向けた荷動きは4月以降になりそうだ。

米国産も同じく通関の遅延が起きている。しかしながら、売価帯に差があるため、大きな影響は出ていない。引き合いの中心はショートプレート、チャックアイロールで、特にチャックではやや品薄感があるか。

豪州、米国共に分かっているだけでも6月までは相場がさらに上昇していく見込み。一気に上昇するとは考えにくいですが、現状で一服せず、ここからじわじわ上昇していくとみられる。

フローズンでは豪州産、米国産共に現地価格が高騰しているため、各社で買付量を抑えている。これにより、通常の引き合いにも対応が難しくなっている他、チルドで逼迫感が出てきた際の代替需要にも対応できない状況だ。通関遅延の影響で在庫が少ないチルドと異なり、フローズンでは当面の間、在庫の品薄感と相場上昇が続く見通しだ。

		グラス	ショートグレイ
豪州産C	トップサイド	1,500 ~ 1,580	1,600 ~ 1,750
	シックフランク	1,450 ~ 1,550	1,550 ~ 1,750
	アウトサイド	1,450 ~ 1,550	1,450 ~ 1,750
	ポイント	1,380 ~ 1,480	1,450 ~ 1,750
	ナーベル	1,100 ~ 1,200	1,230 ~ 1,350
	ランプ	1,650 ~ 1,820	1,750 ~ 2,000
	クロッド	1,350 ~ 1,530	1,500 ~ 1,750
	チャックロール	1,600 ~ 1,720	1,750 ~ 2,000
	チャックテンダー	1,450 ~ 1,600	1,550 ~ 1,850
	キューブロール	3,400 ~ 3,700	3,900 ~ 4,500
豪州産F	ストリップロイン	2,600 ~ 2,750	2,700 ~ 3,300
	テンダーロイン	4,200 ~ 4,950	4,800 ~ 5,500
豪州産	チャック&ブレード	-	-
	ポイント	-	-
	ナーベル	1,050 ~ 1,280	-
	カウミート	1,150 ~ 1,320	-
	トップサイド	1,400 ~ 1,450	-
	シックフランク	-	-

		チルド	フローズン
米国産	スクウェアカットチャック	-	-
	ショルダークロッド	1,700 ~ 1,800	1,550 ~ 1,650
	ショートプレート	1,200 ~ 1,300	1,100 ~ 1,280
	ボンレスショートリブ(チョイス)	5,850 ~ 6,540	-
	ボンインショートリブ	-	-
	チャックリブ(チョイス)	2,800 ~ 3,550	2,250 ~ 2,350
	ストリップロイン(チョイス)	4,300 ~ 4,800	-
	リブアイロール(リップオン)	5,200 ~ 5,500	-
	テンダーロイン	5,700 ~ 6,000	-
	ステーキレディ	-	-
米国産	チャックアイロール(チョイス)	2,400 ~ 2,750	2,000 ~ 2,300
	同(プライム)	2,700 ~ 3,000	-

## 【ブロイラー市中現物相場】 国産生鮮モモ強もちあい

◇国産物 生鮮モモは節約志向の高まりなども背景に動きが良い。日経荷重の東京相場は830円台で先週からやや強もちあいに値を上げている。生鮮ムネはやや動きが鈍いものの、510円前後でおおむねもちあいで値動き。冷凍モモも輸入物の高騰の影響からキロ770円前後で高止まりしている。

◇輸入物 ブラジル産、タイ産共モモ正肉キロ770円前後、カット物はキロ815円前後で高止まり。輸入量は回復傾向だが、年

モモ正肉(産地凍結)	750~790
ムネ正肉(〃)	410~490
手羽モト(〃)	300~350
手羽サキ(〃)	玉なし
砂キモ(〃)	玉なし
ササミ(〃)	380~500

度末と春の行楽などで外食、中食とも需要の非常に強い時期で、国内在庫は引き続き逼迫している。

米国産モモ正肉(240gUP)	玉なし
米国産ジャンボレッグ(350gUP)	350中心
米国産BIL	530~550
ブラジル産モモ正肉	760~780
ブラジル産モモ角切り	800~830
ブラジル産皮なしモモ正肉	770中心
ブラジル産グリラー(1000gUP)	450~470
ブラジル産手羽サキ(50gUP)	600中心
タイ産モモ正肉	760~780
タイ産モモ角切り(25~30g)	800~830
米国産モモ串	玉なし

[訂正] 本紙26日付6面の米国と台湾の相互貿易協定の記事中に誤った表が掲載されました。関係各

位におわび申し上げますとともに、下記に正しい表を入れて再掲載いたします。

## 米国は台湾との相互貿易協定の合意を発表、業界団体は賞賛

米国通商代表部 (USTR) はこのほど、台湾との相互貿易協定に合意したと発表した。相互貿易協定は両国・地域における大幅な関税引き下げ、非関税障壁の撤廃などを目指すものとなっている。なお、同協定の発効時期については未定である。

USTRの発表によれば、台湾側は米国の製品に対して関税割当量を設けることはせず、米国産農産物(小麦、牛肉、乳製品、豚肉など)をはじめとする多くの品目について関税の大幅な削減または撤廃が実現するとされている。また、関税の削減・撤廃のみならず、米国産の牛肉、豚肉、家禽肉、加工用ばれいしょについて台湾側の非関税障壁を解決すること、そして、バイソン肉の台湾への輸出解禁手続きを完了するため台湾は米国と協力することとされた(表)

一方、米国側は台湾からの農産物などを含む品目に対する相互関税について、最恵国(MFN)税率が15%未満の物品は15%まで関税率を上昇させ、MFN税率が15%以上の物品については関税率の追加を行わないこととなった。

合意内容を受け、各業界団体は賞賛する声明を発表している。全米肉用牛生産者・牛肉協会(NCBA)は、台湾は米国産牛肉にとって最も有力な国際市場の一つとして台頭しており、無関税の市場アクセスは輸出市場に依存しながら一頭一頭の価値を最大化しようとする生産者にとっ

て、長期的な安定性を提供する旨を述べている。また、全米豚肉生産者協議会(NPPC)も、15年以上の貿易上の障壁を解決する取り組みが実を結び、生産者にとってさらなる輸出機会と繁栄がもたらされる旨を述べている。

また、全米生乳生産者連盟(NMPF)、米国乳製品輸出協会(USDEC)および一般食品名称コンソーシアム(CCFM)も合意内容を賞賛し、協定により全ての米国産乳製品に対する関税が撤廃され、台湾における非関税障壁が未然に防がれることになると述べている。さらにCCFMは、台湾は米国にとって重要な市場であり本協定に含まれる一般名称保護の約束は、欧州連合(EU)のような第三者が知的財産権の手段を悪用して米国の輸出機会を奪うことを未然に防ぐと述べている。(農畜産業振興機構)

相互貿易協定における米国産農産物等の台湾向け非関税障壁の対応

米国産牛肉
牛海綿状脳症(BSE)に関するリスクの取り扱いについて、国際獣疫事務局(WOAH)が定める規定と整合性を取ること、牛肉および内臓におけるラクトバミンについて、コーデックス委員会が定める残留基準値(MRL)を採用すること(腎臓および肝臓を除く内臓についてはコーデックス委員会が定めるMRL又は0.09ppmを採用すること)、輸入許可申請を不要とすること など
米国産豚肉
豚肉におけるラクトバミンについて、コーデックス委員会が定める残留基準値(MRL)を採用すること(内臓についてはコーデックス委員会が定めるMRL又は0.09ppmを採用すること)、ラクトバミンを含むβ作動薬に係る豚肉及び内臓に対する全ロット検査を終了すること、WOAHの規定に基づくアフリカ豚熱に関するゾーニングの導入 など
米国産バイソン肉
バイソン肉を、米国から台湾に輸出が可能となるための手続きを、不当な遅滞なく完了させること など
家きん肉・卵
米国農務省食品安全検査局(USDA/FSIS)が指定した施設からの輸入を受け入れ、USDA/FSISによって検査が実施された製品について追加の要件や検査を要求しないこと、高病原性鳥インフルエンザに関するリスクの取り扱いについて、WOAHが定める規定と整合性をとること など
加工用ばれいしょ
USDA動物衛生検査局(APHIS)と台湾当局間で定められ、2026年2月6日に公表された米国産加工用ばれいしょの輸入に関する検査要件を厳格に執行すること など
商品名における一般名称の表示
米国産食肉およびチーズについて、パンチェッタ、プロシュート、ゴーダ、パルメザンなどの名称の使用を認め、不当に流通を制限しないこと など

出典: USTR [Agreement Between the American Institute in Taiwan and the Taipei Economic and Cultural Representative Office in the United States on Reciprocal Trade between the United States of America and Taiwan] を参照し作成

## 宮城県角田市の家禽農場で今シーズン 23 例目の鳥フル確認—農水省

農水省は26日、宮城県角田市の家禽農場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜(今シーズン国内

23例目)が確認されたと発表した。これを受け、同農場のあひる(合鴨)約9千羽が殺処分となる。

[資料] 都道府県等における地鶏、銘柄鶏の生産利用状況 令和6年度実績②

No	都道府県	コマーシャル鶏の名称	地鶏、銘柄鶏区分	機関の関与※1	交配様式(品種)※2	生産組織(場所)	産肉性		育成率(%)	産卵率(%)	生産組織名	コマーシャル鶏		流通販売範囲	コマーシャル鶏の特徴		センター由来の品種(系統・牧場)	
							原種鶏(GP)	種鶏(PS)				出荷日齢	目録体重(g)		雄	雌		飼養農家戸数
16	山梨県	甲州地どり地鶏	①	♂系:山梨シャモ ♀系:WR	県試験場 兵庫牧場	民間種鶏場	119	4,200	96	ND	甲州地どり生産組合	7	3,500	25,000	県内 首都圏	産肉・産卵性 歯ごたえあり	県農産物認証	WR881系
		甲州類落鶏	②	♂系:RC ♀系:甲州地どり	県試験場 兵庫牧場	県試験場	84	4,250	97	ND	個人	1	950	920	県内	特になし		RC56系
17	長野県	信州黄金シャモ(肉用)	①②③④	♂系:軍鶏833系統 ♀系:名古屋種	兵庫牧場 長野畜試	長野畜試	♂:112以上、♀:120以上	3,600	ND	ND	ND	ND	17,000	県内中心	飼育者認定、飼育統一基準	軍鶏(833系統・兵庫)		
		しなの鶏(肉用)	②③④	♂系:軍鶏833系統 ♀系:WPR	兵庫牧場	長野畜試	80	4,000	ND	ND	ND	ND	6,200	県内中心	成長が早く、飼育期間が短い。	軍鶏(833系統・兵庫)、WPR(13系統・兵庫)		
		長交鶏3号(肉用)	③④	♂系:軍鶏834系統 ♀系:名古屋種87系統	兵庫牧場	長野畜試	100	3,500	ND	ND	ND	ND	2,300	県内中心	多汁性や弾力性に富み、うま味が強い。	軍鶏(834系統・兵庫)、名古屋種(87系統・兵庫)		
		興美濃古地鶏(肉用)	①②④	♂系:岐阜地鶏改良種 ♀系:WPR×RIR	岐阜県畜産研究所	民間孵化場	75以上	3,500(雌雄平均)	ND	ND	ND	興美濃古地鶏普及推進協議会	6	77,994	県内(一部県外)	歯ごたえが良い味にコクがある	WPR(13系統・兵庫)	
18	岐阜県	興美濃古地鶏(卵用)	①②③④	♂系:岐阜地鶏 ♀系:RIR	岐阜県畜産研究所	岐阜県畜産研究所	ND	ND	ND	ND	興美濃古地鶏普及推進協議会	18	1,499	県内中心	強健で飼いやすい	ND		
		駿河シャモ(肉用)	①②④	軍鶏、名古屋種、RIRBPR等の合成種	静岡県中小家畜研究センター	静岡県中小家畜研究センター	112	3,000	95以上	60%(180日齢から500日齢)	駿河シャモ生産者協会	6	705	県内、首都圏	肉味がよい、噛み応えがある	RC(56系統・兵庫)		
19	静岡県	肉用名古屋コナー(肉用)	①②③④	♂系統:名古屋種 ♀系統:名古屋種	県畜産総合センター種鶏場	民間種鶏場	126	3,000	ND	ND	ND	40	898,556	県内 首都圏 関西圏	産肉性の向上(旧タイプより10%増体アップ)		ND	
		卵用名古屋コナー(卵用)	①②③④	♂系統:名古屋種 ♀系統:名古屋種	県畜産総合センター種鶏場	民間種鶏場	ND	ND	ND	ND	ND	39	77,653	県内 首都圏 関西圏	さくら色の卵殻に白い斑点が浮かぶ「桜吹雪」模様の卵を多く産む		ND	

No	都道府県	センター 銘柄鶏の名称	地鶏、 銘柄鶏 区分	機関の 関与 ※1	交配様式 (品種) ※2	生産組織(場所) 原種鶏 (GP)	種鶏 (PS)	出荷 日齢	産肉性		育成率 (%)	産卵率 (%)	生産 組織名	センター 産肉性		流通・販 売範囲	センター由来の 品種 (系統・牧場)	
									♂	♀				産肉性 目録体重(g)	出荷羽数 (年間:羽)		出荷羽数 (年間:羽)※3	PRのポイント及びその理由 産肉・産卵性
21	三重県	熊野地鶏 (肉用)	地鶏	① ② ④	♂系:合成品種((軍鶏♂×NH♀)♂×NH♀)♀系:名古屋種	県試験場	県試験場	120日以上	3,250	2,750	94	65 (30~40週齢)	熊野地鶏 生産組合	2	35,000	32,900	県内外の 飲食店・ 小売店・ 問屋	ND
22	滋賀県	近江しゃも	地鶏	②	♂系:軍鶏 ♀系:RIR× BPR	兵庫牧場 岡崎牧場	滋賀県畜 産技術振 興セン ター	140~160	定めて いない	定めて いない	ND	ND	近江しゃ も普及推 進協議会	7	9,932	ND	県内、 近畿、 東京	軍鶏(833系統・ 兵庫) RIR(YA系統・岡 崎) BPR(XS系統・岡 崎)
23	京都府	京地どり (肉用)	地鶏	②③ ④	♂系:軍鶏 ♀系:BPR	兵庫牧場 岡崎牧場	民間種鶏 場 府試験場	♂:85日 齢以上 ♀:85日 齢以上	3,000 ~4,200	2,700 ~3,800	95	ND	京地どり 生産・流 通推進協 議会	8	約19,000	約16,000	府内 関西・首 都圏	軍鶏(833系統・ 兵庫牧場) BPR(YA系統・ 岡崎牧場)
24	奈良県	大和肉鶏 (肉用)	地鶏	① ② ④	♂系:軍鶏 ♀系:名古屋 ×NH	奈良県畜 産技術セ ンター	奈良県畜 産技術セ ンター	120日齢 以上	3,400	2,400	92	ND	奈良県畜 産農業協 同組合	7	101,383	93,272	県内 京阪神 首都圏	軍鶏(831系統・ 兵庫)(過去に利 用)
25	和歌山県	龍神コッコ (卵用)	銘柄	① ② ③ ④	♂系:龍神地 鶏 ♀系:RIR	県試験場 岡崎牧場	県試験場	ND	ND	ND	ND	86.1 (30~42週 齢)	龍神コッコ・ 紀州龍神 シヤモ普及 協議会	2	530	530	県内	RIR(YC系統・岡 崎)
27	鳥取県	鳥取地ど りヒヨ (鹿野地 鶏、豆幻 鶏)(肉 用)	地鶏	① ② ③ ④	♂系:軍鶏× RIR ♀系:WR	県試験場 兵庫牧場 岡崎牧場	県試験場	100日齢 前後	4,500	3,200	97.2	ND	鳥取地ど り生産者 協議会	2	13,203	12,833	県内、関 西圏、首 都圏	軍鶏(831系統・ 兵庫) RIR(86系統・兵 庫) RIR(YA系統・岡 崎) WPR(13,981系 統・兵庫)
28	山口県	長州黒か しわ	地鶏	① ② ③ ④	♂系:やまぐ ち黒鶏 (軍鶏× 黒相鶏× RIR)×WPR ♀系:RIR	山口県農 林総合技 術セン ター畜産 技術部 岡崎牧場 またば農 林総合技 術セン ター畜産 技術部	民間種鶏 場	♂:76~ 86日齢 ♀:92~ 105日齢	3,400	3,100	93.4	ND	深川養鶏 農業協同 組合	5 (うち畜試 等県機関 1)	320~400 羽/ロット	45,371	県内 首都圏 ギフト	軍鶏(833系統・ 兵庫) RIR(86系統・兵 庫、YD系統・岡 崎、YC系統・岡 崎) WPR(981系統・ 兵庫)

出典:家畜改良センター兵庫牧場HP

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 3月26日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,243	2,510	2,389	-	-
		安値	2,363	2,278	2,227	-	-
		平均	2,676	2,457	2,310	-	-
	73頭	頭数	64	7	2	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,456	2,546	2,431	-	-
		安値	2,408	2,359	2,226	-	-
		平均	2,685	2,478	2,383	-	-
	161頭	頭数	120	30	11	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	18頭	平均	1,785	1,754	1,684	1,628
		頭数	2	5	6	5	
	雌 C	-頭	平均	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	
	去 B	21頭	平均	1,790	1,740	1,693	1,642
頭数	1	4	8	8			
去 C	-頭	平均	-	-	-	-	
頭数	-	-	-	-			

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	337	896	-	(競り)	(相対)	
売買	352	829	208.0	-	3	51

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,494	1,922	1,833	1,695	-
	B	-	-	1,548	1,586	-
和 去	A	2,553	-	2,373	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,127	1,098
	C	-	-	-	1,092	1,051
乳 去	B	-	-	-	-	1,297
	C	-	-	-	1,187	1,186
交 雌	B	-	1,702	1,623	1,561	-
	C	-	-	1,569	-	-
交 去	B	-	1,752	1,675	-	-
	C	-	-	-	-	1,236

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	-	813	877	905	816
	安値	-	680	647	410	378
	平均	-	701	682	670	481
	頭数	(-)	(387)	(295)	(85)	(62)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入相対	高値	-	-	-	-	499
	安値	-	-	-	-	499
	平均	-	-	-	-	499
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(3)	

[大阪食肉卸売市場] 3月26日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ] は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,722	2,543	-	-	-
(頭数)	(3)	(2)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,730	2,453	-	-	-
(頭数)	(9)	(1)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,843	1,754	1,696	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,824	1,812	1,749	-
C	-	1,786	-	-	-
豚	-	781	781	468	485

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	3月26日	3月25日	(3月累計)
豚	65,600	66,800	1,187,900
成牛計	3,560	3,790	75,910
和牛雌	620	890	17,450
和牛去勢	770	920	19,640
乳牛雌	680	810	12,080
乳牛去勢	440	490	7,830
交雑雌	550	320	9,620
交雑去	500	360	9,270

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 3月26日

	東京	大阪
1,670 円 (前日 1,651 円)	1,778 円 (前日 1,742 円)	

[豚・全農建値] 3月26日

上	中	取引頭数	市況
698 円	680 円	1,043 頭	強もちあい

と畜	牛 33 頭	豚 61 頭	牛概況	もちあい
売買	牛 43 頭	豚 122 頭	豚概況	弱もちあい

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 3月26日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	670 (659)	- (-)	5,584	-	上伸
仙台 [中]	644 (649)	515 (540)	481	43	続落
栃木 [地]	704 (680)	683 (675)	1,395	60	続伸
茨城 [地]	712 (697)	680 (675)	1,058	687	続伸
群馬 [地]	709 (694)	643 (598)	2,012	306	反発
さいたま [中]	703 (687)	693 (685)	254	255	続伸
東京 [中]	701 (703)	682 (670)	896	829	もちあい
横浜 [中]	691 (699)	666 (670)	652	648	反落
山梨 [地]	694 (692)	657 (650)	198	164	もちあい
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	680 (676)	657 (664)	906	332	続伸
京都 [中]	680 (-)	657 (-)	72	78	もちあい
大阪 [中]	781 (787)	781 (767)	61	87	弱もちあい
神戸 [中]	633 (-)	630 (-)	47	135	-
岡山 [地]	684 (685)	666 (683)	261	316	もちあい
広島 [中]	- (666)	- (636)	386	-	上場なし
福岡 [中]	665 (656)	633 (609)	576	185	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 3月19日～3月25日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,659,229 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,134	1,220	1,274	1,210	65,741
うで	756	827	842	814	122,419
ロース	1,116	1,166	1,244	1,174	150,508
ばら	1,165	1,242	1,328	1,242	161,489
もも	788	821	864	825	172,033
ヒレ	1,075	1,102	1,123	1,099	16,639
セット	1,008	1,058	1,094	1,050	970,400

◇近畿圏 総重量 707,334 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,188	1,296	1,400	1,305	53,742
うで	721	743	810	746	114,032
ロース	1,123	1,188	1,264	1,201	99,704
ばら	1,237	1,326	1,351	1,308	125,926
もも	739	756	826	766	153,992
ヒレ	1,120	1,253	1,388	1,260	11,211
セット	999	1,056	1,134	1,055	148,727

[食鳥正肉日経相場] 3月25日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社) ※休載

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	-	-	-	-
ムネ	-	-	-	-

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	760	806	1,050	5
ムネ	442	492	610	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 3月24日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,097	725	550	600	650
安値	770	450	290	360	350
平均	854	518	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

# 食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

### ■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

### ■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

### ◆食肉販売&経営関連

## 銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

## 銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

### ◆イベント

#### ■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



## 食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで  
お近くの食肉通信社まで

# 株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510  
TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928  
TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

## 週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

## 日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

## 月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

### ◆教材&レポート等

#### ■あなたの常識を強化にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男  
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

#### ■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

#### ■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

#### ■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

### ◆ステーションリー

## 食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します